



地域福祉の発展のために長年尽力 令和3年「秋の叙勲」を受章

11月25日、東海村民生委員・児童委員として、昭和55年から平成22年までの30年以上にわたり地域福祉の発展のために尽力され、秋の叙勲を受章された岸三男さん(白方)が、村長へ報告に訪れました。岸さんは、民生委員・児童委員として地域での献身的な活動や委員の育成等、地域福祉の発展に尽力したことが認められ、今回の受章に至りました。「長年の活動が実を結び、このような章がいただけるととても光栄です」と話した岸さん。おめでとうございます。

【写真左から】石崎ひたちなか警察署長、小野寺さん、山田村長



安心・安全のためにできることを 令和3年度「茨城県防犯協会表彰」

11月10日、役場で令和3年度「茨城県防犯協会表彰」の表彰伝達式が行われました。これは、地域の安心と安全のために、多年にわたり防犯活動に尽力された方や団体に贈られるもので、今年度は小野寺紀夫さん(村松北)が「優良防犯連絡員」として表彰されました。地域のボランティアの皆さんによる防犯パトロールなどの地道な取り組みが、街頭犯罪や窃盗事件、非行などの防止につながっており、村長や石崎宏文ひたちなか警察署長から感謝の言葉が贈られました。



長年、培ってきた技で日本一に輝く 2021年度「真のナポリピッツァ協会」フレッシュマンチャレンジカップ優勝

11月9日、10月に岐阜県で開催された「真のナポリピッツァ総会」で認定審査に合格したほか、同時開催の「フレッシュマンチャレンジカップ」で優勝した吉武紀英さん(ピザ職人ノラ ジネストラ(大山台)代表)が、村長へ報告に訪れました。ピッツァ一筋27年、専門職人として都内有名店での勤務経験もある吉武さん。自分のピッツァをたくさんのお客さんに届けたいという思いから自分の店を持つことを決心し、村の創業支援を受けながらその夢をかなえました。村長は「これからも技に磨きをかけてほしい。応援しています」と話しました。



▲研修会の参加者からは、「自分が思っている以上に多くの偏見・差別があることが分かった」などの声が聞かれました。

▼講演会では、「一人ひとりが自分らしく生きられる社会」について、生徒たちが真剣な表情で耳を傾けていました。



差別や偏見のない社会の実現に向けて 多様な性について考える研修会・講演会を実施

11月4日、役場で、性的マイノリティ(少数者)に関する基礎知識を知り、当事者への理解を深めることを目的に、人権擁護委員と男女共同参画推進委員を対象とした研修会を実施しました。研修会では講師の河野陽介さん(多様な性を考える会にじいる神栖代表)が、体験談や過去の事例を交え、当事者への偏見や差別について話しました。また11月10日、東海中学校で1年生187人を対象に「自分らしさって何だろう?」をテーマに講演会を実施しました。生徒たちは、お互いの良さや違いを認め合い、支え合うことが大切であると学びました。